

情報モラル教育実践授業報告書

対象学年	高校 2年
領域	教科指導 (科目 国語)
指導項目	メディアの特色を生かして表現する。

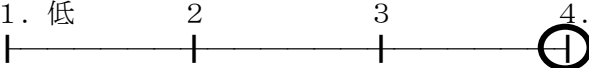
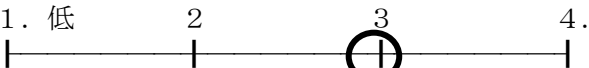

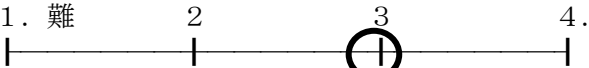
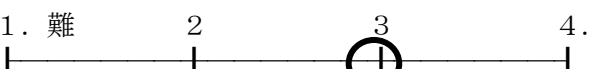
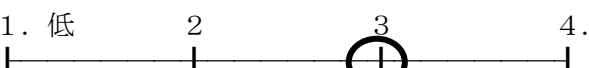
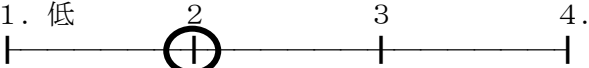
情報モラル指導モデルカリキュラム (http://kayoo.org/moral-guidebook/model/model-curriculum.html)			
指導分野	安全への知恵		
コード	d5-1	指導事項	情報社会の特性を意識しながら行動する。

授業前の生徒の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS に関してトラブルに巻き込まれてしまう生徒が増えている。 ・ 個人情報をインターネット上のソーシャルメディアに掲載している。個人情報を公開することの危険性に気付いていない。
期待される生徒の変容 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネット社会は、さまざまな危険が潜んでいることを自覚し、危機管理能力を身に付ける。 ・ 生徒が、情報技術に関する基本的な知識を身に付け、日常のモラルを踏まえた行動をすることによって、SNS などのコミュニケーション手段を適切に利用できることを理解する。
生徒の変容を促すための授業の工夫 (ポイント)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動画を視聴させ、その後ワークシートに記入させることで、生徒一人一人に情報社会における責任や義務を意識させ、正しく判断し行動することの大切さを理解させる。 ・ 教材の内容として生徒に身近な話題を取り上げることにより、軽率な行動が他人へ影響を及ぼすだけでなく、自分の将来にも大きく影響を与える可能性があることに気付かせる。
利用するコンテンツ等 (サイトのアドレス) または資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報化社会の新たな問題を考えるための教材 ～安全なインターネットの使い方を考える～ 動画教材 10 軽はずみな SNS への投稿, ワークシート

<生徒の感想>

- ・ SNS は便利な面もあるが、使い方を間違ってしまうと途端に危険なものになってしまう一面もある。投稿する際には、それがマナーやモラルに反していないかを確認しなければならないと思った。
- ・ 一時のおふざけで一生をだいなしにしてしまうと思った。
- ・ 自分の行動が周りにどう影響するか、それを SNS に投稿したらどうなるかをよく考えて直す必要があると思いました。
- ・ SNS は 3 秒もあれば一気に拡散するので怖いと思う。
- ・ どういった責任を負わされてしまうのか良くわかりました。

評価

生徒について	生徒の 興味関心の度合い	1. 低 2 3 4. 高  理由・感想等 動画教材を真剣に視聴しており、ワークシートにも積極的に取り組んでいた。
	生徒の理解度	1. 低 2 3 4. 高  理由・感想等 ワークシートに適切な記述が多く見られ、情報技術に関する基本的な知識を問う問題もほとんどの生徒が答えられていた。
	生徒の 変容の度合い	1. 低 2 3 4. 高  理由・感想等 以前と比較して、SNSで指導する件数が減少している。
授業について	事前準備の難易度	1. 難 2 3 4. 易  理由・感想等 動画教材とワークシートがあるので、学校の実態に応じて、ワークシートを少し変更するだけで十分に授業ができた。話し合いやグループワークの時間を設けようとすると思入りの準備が必要になると思われる。
	指導者にとっての 授業展開の難易度	1. 難 2 3 4. 易  理由・感想等 動画教材とそれに対するワークシートということで、時間も読みやすく、計画が立てやすい。グループワークを取り入れようとする、話が大きくそれたり、動画教材の細かい部分への指摘で盛り上がりすぎたりするなど、思うように進まない可能性がある。
	授業の「ねらい」の 達成度	1. 低 2 3 4. 高  理由・感想等 今回は、危険性を周知することが目的であったので、動画教材を見せて、内容をワークシートにまとめる方法は非常に効果的であった。
	指導方法の 効果の度合い	1. 低 2 3 4. 高  理由・感想等 動画教材を提示するだけでは、出てくる事例だけにとどまってしまう生徒が多い。生徒に身近な事例も紹介し、考えさせることが必要である。
<実践の感想及び反省点等> 生徒にとって身近に起こりうる動画を教材として使ったので、生徒は真剣に視聴しており、ワークシートにも積極的に取り組んでいた。動画を使って生徒の視覚に訴えることは、生徒の学習意欲を高める効果があると再認識できた。 一つの事例から広く派生して、適切な情報モラルを身に付けていくためには、生徒同士の話し合いやグループワークを通じて、他の生徒の意見を聞き視野を広げるとともに、学んだ知識をさまざまな事例に当てはめて考え、表現させることが必要である。		

実践例

配当時間		学習のすすめ方	指導のポイント・留意点
導入	10分	1 これまでに発生した情報モラルに関する指導事例の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・ネット上での他人への悪口 ・ネット上への生として不適切な画像の掲載 ・ネット上への情報や個人が判別できる画像等の掲載 2 本時のねらいを理解	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの身の回りで発生する可能性がある身近な問題であることを意識させる。
展開	30分	3 動画「教材⑩ SNS等のトラブル（中2～高3） 軽はずみなSNSへの投稿 導入編」の視聴 4 原因の分析と対策の検討 <p>(1) かずきさんの行動の問題点を考えて、ワークシートに記入する。</p> <p>(2) かずきさんと周りの人は、今後、どのようになってしまうのかを考えて、ワークシートに記入する。</p> <p>(3) インターネットのどのような特性によってかずきさんの投稿が広まったのかを考えて、ワークシートに記入する。</p> <p>(4) 動画「教材⑩ SNS等のトラブル（中2～高3） 軽はずみなSNSへの投稿 解説編」を視聴する。 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの公開性：世界中の人が見ることができる。 ・インターネットの記録性：インターネット上の情報は誰でも簡単にコピーでき、コピーされた情報は削除できない。 </p> <p>(5) 日常のモラルとの関連性を考え、インターネットへの情報発信で、今後気を付けるべきだと考えたことをワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな問題があったかを考えながら視聴するように伝える。 ・問題点とその理由も記述するように伝える。 ・周囲の人への影響と自分の将来への影響を与える可能性があることに気付かせる。 ・動画を2～3回見せて、インターネットの特性や利用にあたっての注意点を理解させる。
まとめ	10分	5 SNSの適切な利用方法について意見を発表し、クラス全体でまとめる。 <p><想定される回答例></p> <p>「投稿する前に問題がないか考える」</p> <p>「他人への影響や将来のことも考えて、責任ある行動をとる」</p> <p>「インターネットの特性など情報技術の基本を理解した上で、日常のモラルを踏まえて行動する」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だけでなく、家庭でも話し合うように伝える。